2025年度　建国中学校　重点目標

【最上位目標】…自律・尊重・共生

【学習】

①ICT機器、AI教材を活用し、基礎知識の定着を図る。

②自学自習の習慣をつけ、主体的に学ぶ態度を養う。

③生徒一人ひとりの目標に沿った学力の向上を目指す。

④国際社会の一員として、語学力（韓国語・英語・日本語）の向上に努める。

【学校生活】

①基本的な生活習慣（時間の管理・提出物・身の回りの整理等）を養う。

②規範意識をもってルールを守り、みんなが楽しく過ごせる学校作りに取り組む。

③困り事や悩み事があれば、先生やスクールカウンセラーに相談するなどで、自己の課題　を解決する力を養う。

【授業内容の充実や環境整備】

①教員の資質向上を図る。

②ICT環境を整え、主体的で対話的で深い学びの授業実践を図る。

③公共物を大切にし、みんなで学習しやすい環境を作る。

④防災訓練を通じ意識を高めるとともに、地域連携を図り、安全な学校作りに取り組む。

【人権教育】

①HR活動などを通じ、人にはいろいろな背景があることの理解に努め、人権について学習する。

②在日韓国人の歴史を知り、存在意義を考える。

③記念講話の歴史的事実から戦争や平和、人権について考える。

④多文化共生の意味を考え、クラス作りを通して互いを尊重する意識を養う。

2025년도 건국중학교 중점 목표

[최상위 목표] 자율·존중·상생

【학습】

①ICT 기기, AI 교재를 활용하여 기초지식의 정착을 꾀한다.

②스스로 학습하는 습관을 기르고, 주체적으로 배우는 태도를 기른다.

③학생 한사람 한사람의 목표에 맞춘 학력의 향상을 목표로 한다.

④국제사회의 일원으로서 어학능력(한국어·영어·일본어) 향상에 힘을 쏟는다.

【학교생활】

①기본적인 생활 습관(시간 관리, 제출물, 주변 정리 등)을 기른다.

②규범 의식을 가지고 규칙을 지키며, 모두가 즐겁게 지낼 수 있는 학교를 만들기 위해 노력한다.

③힘든 일이나 고민이 있으면 선생님이나 학교상담사와 상담하는 등, 자신의 과제를 해결하는 힘을 기른다.

【수업 내용의 충실화와 환경 정비】

①교원의 자질 향상을 꾀한다.

②ICT 환경을 정비하고 주체적, 대화적으로 깊이 배울 수 있는 수업의 실천을 꾀한다.

③공공의 물건을 소중히 여기며 함께 학습하기 좋은 환경을 만든다.

④방재 훈련을 통해 의식을 높임과 동시에, 지역 제휴를 꾀하여 안전한 학교를 만들기 위해 노력한다.

【인권 교육】

①HR 활동 등을 통해 사람에게는 여러 가지 배경이 있음을 이해하고자 노력하며, 인권에 대해 학습한다.

②재일한국인의 역사를 알고 존재 의의를 생각한다.

③기념 훈화의 역사적 사실로부터 전쟁과 평화, 인권에 대해 생각한다.

④다문화 공생의 의미를 생각하며, 학급 공동체 형성을 통해 서로를 존중하는 의식을 기른다.

建国中学校

校長　金　秀　子

2025年度　建国中学校　学校評価

1　本年度の取組内容及び自己評価

（評価指標A:とてもそう思う　B:そう思う　C:あまりそう思わない　D:全くそう思わない

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標(%) アンケート結果 A+B	教員自己評価
1 自律・尊重・共生	・本校の建学精神と学校方針を周知し、学校の教育目標がより高い次元で実現できるように協力体制を整える。	⑴生徒集会や記念講話など通じ、学校の創立意義や教育目標を学んでいる。 （記念講話） ・3.1独立運動 ・4.24阪神教育闘争 ・5.31創立記念日 ・6.25戦争 ・8.15光復節 ・11.3学生の日	生徒　79 保護者　92 教員　71	■記念講話等の機会を通じ、近現代史と本校創立の意義、建学の精神の関連性について生徒の理解を深めることができた。今年度は高校生が主体となり、中高合同でのプレゼンテーションを行うなど、生徒自身の発信による周知が図られた点は大きな成果である。 ■生徒がより「自分事」として平和を捉えられるよう、今後も生徒主導の機会を増やし、建学の精神を基盤とした教育目標のさらなる高次な実現を目指したい。
2 学習	①ICT機器、AI教材を活用し、基礎知識の定着を図る。 ②自学自習の習慣をつけ、主体的に学ぶ態度を養う。 ③生徒一人ひとりの目標に沿った学力の向上を目指す。 ④国際社会の一員として、語学力（韓国語・英語・日本語）の向上に努める。	⑵K-labやmanaboを活用し、主体的に学ぼうとしている。 ⑶ICT機器や「すらら」などのAI教材を活用し、学習に努めている。 ・「すらら」導入2年目 ⑷目標をもって英検やTOPIKなどに挑戦し語学学習に努めている。 ・英検受験（5月10月1月） ・TOPIK ・漢検（6月１１月） ・学力テスト ⑸国際交流行事に積極的に参加している。 5月28日　長木芸術中学校交流会 6月3日　仁国際中学校交流会 7月10日　済州朝天中学校交流会 11月13日　チンレ中学校 （オンライン交流会） 12月11日　済州朝天中学校 （オンライン交流会）	生徒　77 保護者　64 教員　86 生徒　68 保護者　56 教員　43 生徒 94 保護者 68 教員　86 生徒 81 保護者 68 教員　71	■全体として、ICT機器やAI教材の活用、検定試験への挑戦、国際交流の推進において、生徒・教員ともに高い肯定感を得ており、重点目標の達成に向けて着実な成果が見られる。 ■K-labやmanaboを活用した主体的な学習姿勢については、生徒（77%）および教員（86%）から高い評価を得た。自学自習の環境が整い、個々の目標に合わせた学習習慣が定着しつつある。 ■語学力向上と検定への取り組みは、生徒の94%が肯定的に回答しており、最も高い成果を上げている。明確な目標設定が、多言語（英・韓・日）の習得意欲を効果的に引き出している。 ■年間を通じた韓国の各中学校との対面・オンライン交流により、国際交流行事への積極的な参加（生徒81%）が見られた。実践的なコミュニケーション機会の提供が、語学学習の動機付けにも寄与している。 ■AI教材「すらら」に関しては、生徒（77%）に対し教員（43%）の評価が低く、指導側との認識に乖離が見られる。導入2年目を迎え、単なる利用に留まらず、「基礎知識の確実な定着」という本来の目的に対して、教員がどのように進捗を管理し、個別指導に繋げるかが今後の課題である。 ■各項目において保護者の評価（64～68%）が、生徒・教員の評価を下回る傾向にある。学校でのICT活用状況や検定・交流行事の成果をより積極的に家庭へ発信し、学校方針への理解と協力をさらに深めていく必要がある。

3 学校生活	①基本的な生活習慣（時間の管理・ 提出物・身の回りの整理等）を養う。 ②規範意識をもってルールを守り、みんなが楽しく過ごせる学校作りに取り組む。 ③困り事や悩み事があれば、先生やスクールカウンセラーに相談するなどで、自己の課題　を解決する力を養う。	⑹学校生活のきまりやルールを守っている。 ⑺体育祭や文芸祭などの学校行事は、積極的に参加し、楽しく充実している。 ⑻困ったときは担任の先生やスクールカウンセラーに相談することができる。	生徒 98 保護者　92 教員　86 生徒 96 保護者 92 教員 86 生徒 90 保護者 88 教員　100	■基本的な生活習慣の確立、規範意識の醸成、そして相談体制の充実において、生徒・保護者・教員の三者ともに高い肯定感（いずれも85%以上）を示している。学校全体として、ルールを守りながら互いに支え合い、充実した学校生活を送れる環境が高い次元で結実しているといえる。今後も、自らより良い学校環境を創造する「主体的・自律的な態度」への深化を目指したい。 ■また、相談体制の満足度は非常に高いが、残りの約1割の生徒や保護者のニーズにも目を向け、より早期の気づきと、一人ひとりの状況に寄り添ったきめ細かな支援を継続していく。
4 環境設備	①教員の資質向上を図る。 ②ICT環境を整え、主体的で対話的で深い学びの授業実践を図る。 ③公共物を大切にし、みんなで学習しやすい環境を作る。 ④防災訓練を通じ意識を高めるとともに、地域連携を図り、安全な学校作りに取り組む。	⑼先生はグループ学習、ディスカッションなどを取り入れた授業を行なっている。 ⑽特別教室やICT設備、wifi環境が整備されている。 ⑾学用品や学校の設備を大切に使っている。 ⑿防犯や防災などの取り組みを通じ、命の大切さを学習する機会がある。 ・全校火災避難訓練（4月） ・全校防災訓練（11月）	生徒 96 保護者 88 教員 71 生徒　87 保護者 83 教員　86 生徒 100 保護者 92 教員 86 生徒 98 保護者83 教員 86	■　ICT環境の整備とそれらを活用した「主体的な学び」の実践において、生徒から極めて高い評価（授業実践96%、設備整備87%）が得られた。教員によるグループ学習やディスカッションの導入が、生徒の学習意欲を効果的に引き出している。 ■生徒側の高い評価に対し、教員の自己評価（授業実践71%）は慎重な傾向にあり、さらなる授業改善への意欲が伺える。今後はICT活用の質をさらに高め、個別最適な学びと協働的な学びの高度な融合を目指す。あわせて、学校での安全対策や環境美化の取り組みを保護者へより積極的に発信し、家庭・地域との連携による「安全な学校作り」を一層推進していく。 ■また、年2回の防災訓練（生徒98%）を通じ、命を尊重する安全意識が深く根付いている点は大きな成果である。
5 人権教育	①HR活動などを通じ、人にはいろいろな背景があることの理解に努め、人権について学習する。 ②在日韓国人の歴史を知り、存在意義を考える。 ③記念講話の歴史的事実から戦争や平和、人権について考える。 ④多文化共生の意味を考え、クラス作りを通して互いを尊重する意識を養う。	⒀HRや授業等を通じ、多文化・多様性の大切さについて学ぶ機会がある。 ⒁行事や授業などを通じて、在日韓国人の歴史を知ることができる。 ⒂記念講話等を通じ、戦争や平和、人権について考える機会がある。 ⒃様々なルーツの人々を尊重するように心がけている。	生徒 96 保護者 84 教員 100 徒98 保護者 88 教員 86 生徒98 保護者 84 教員 86 生徒98 保護者 84 教員 86	■多文化共生や在日韓国人の歴史に関する教育活動において、生徒から極めて高い評価（96%～98%）が得られた。特に「多文化・多様性の大切さ」については、教員の自己評価も100%に達しており、指導体制と生徒の受け止めが非常に高い次元で一致している。記念講話やHR活動を通じ、歴史的事実に基づいた平和・人権への深い考察が行われ、異なるルーツを持つ他者を尊重する意識が、生徒の間に確かな規範として根付いている点は特筆すべき成果である。 ■各項目において、保護者の評価（84%～88%）も良好ではある。今後は、多文化共生や平和教育の具体的な取り組み、および生徒の成長の様子をさらに積極的に家庭へ発信するとともに、建学の精神を柱に、多様な背景を尊重し合える豊かな人間性の育成に努めたい。

2025年度　建国中学校学校評価アンケート			生徒						保護者						教員					
			A	B	C	D	A+B	C+D	A	B	C	D	A+B	C+D	A	B	C	D	A+B	C+D
全般	1	・生徒集会や記念講話など通じ、学校の創立意義や教育目標を学んでいる。 ·학생 공동체 활동과 강연 등을 통해 학교의 창립 의의와 교육 목표를 배우고 있다.	15	64	19	2	79	21	32	60	8	0	92	8	57	14	29	0	71	29
学習	2	・K-labやmanaboを活用し、主体的に学ぼうとしている。 ·K-lab과 manabo를 활용하여 주체적으로 학습하려는 태도를 기르고 있다.	32	45	13	10	77	23	24	40	20	16	64	36	43	43	14	0	86	14
	3	・ICT機器や「すらら」などのAI教材を活用し、学習に努めている。 · ICT 기기와 '스라라' 등의 AI 학습 교재를 활용하여 학습 역량 향상에 힘쓰고 있다.	30	38	26	6	68	32	28	28	28	16	56	44	43	0	43	14	43	57
	4	・目標をもって英検やTOPIKなどの挑戦し語学学習に努めている。 · 목표를 가지고 영어검정, TOPIK 등의 시험에 도전하며 어학능력을 높이고 있다.	38	56	4	2	94	6	40	28	24	8	68	32	72	14	0	14	86	14
	5	・国際交流行事に積極的に参加している。 ·국제 교류 행사에 적극적으로 참여하고 있다.	32	49	15	4	81	19	24	44	20	12	68	32	57	14	29	0	71	29
学校生活	6	・学校生活のきまりやルールを守っている。 ·학교생활 규칙과 질서를 잘 지키고 있다.	55	43	2	0	98	2	44	48	4	4	92	8	72	14	0	14	86	14
	7	・体育祭や文芸祭などの学校行事は、積極的に参加し、楽しく充実している。 ·체육대회와 문예제 등 학교 행사에 적극적으로 참여하며 즐겁고 의미 있는 학교생활을 하고 있다.	62	34	4	0	96	4	56	36	8	0	92	8	72	14	14	0	86	14
	8	・困ったときは担任の先生やスクールカウンセラーに相談することができる。 ·어려움이 있을 때 담임교사나 학교 상담교사에게 상담할 수 있다.	50	40	4	6	90	10	24	64	12	0	88	12	57	43	0	0	100	0
環境整備	9	・先生はグループ学習、ディスカッションなどを取り入れた授業を行なっている。 · 교사는 모둠 학습과 토의 활동 등을 포함한 수업을 운영하고 있다.	53	43	4	0	96	4	40	48	12	0	88	12	71	0	29	0	71	29
	10	・特別教室やICT設備、wifi環境が整備されている。 ·특별교실, ICT 설비, Wi-Fi 환경 등 교육 시설이 잘 갖추어져 있다.	51	36	9	4	87	13	33	50	17	0	83	17	72	14	14	0	86	14
	11	・学用品や学校の設備を大切に使っている。 ·학용품과 학교 시설을 소중히 사용하고 있다.	70	30	0	0	100	0	36	56	4	4	92	8	72	14	0	14	86	14
	12	・防犯や防災などの取り組みを通じ、命の大切さを学習する機会がある。 ·방범·방재 교육을 통해 생명의 소중함을 배우는 기회를 갖고 있다.	51	47	2	0	98	2	33	50	13	4	83	17	72	14	14	0	86	14
人権教育	13	・HRや授業等を通じ、多文化・多様性の大切さについて学ぶ機会がある。 ·HR 활동 및 수업을 통해 다문화와 다양성의 중요성에 대해 배우고 있다.	47	49	4	0	96	4	32	52	16	0	84	16	43	57	0	0	100	0
	14	・行事や授業などを通じて、在日韓国人の歴史を知ることができる。 ·각종 행사와 수업을 통해 재일 한국인의 역사에 대해 알 수 있다.	51	47	2	0	98	2	42	46	8	4	88	12	57	29	0	14	86	14
	15	・記念講話等を通じ、戦争や平和、人権について考える機会がある。 ·기념 강연 등을 통해 전쟁, 평화, 인권에 대해 생각해 볼 기회를 갖고 있다.	55	43	2	0	98	2	44	40	16	0	84	16	57	29	0	14	86	14
	16	様々なルーツの人々を尊重するように心がけている。 ·다양한 배경을 지닌 사람들을 존중하려는 태도를 기르고 있다.	70	28	2	0	98	2	32	52	16	0	84	16	57	29	14	0	86	14

学校法人白頭学院
理事会・評議会 貴下

2025 学年度 学校関係者評価会議

2026 年 3 月 28 日
学校法人白頭学院
建国中学校
学校関係者評価委員会
朴奎美（PTA 会長）

---

1. 会議概要

・日時：2026 年 3 月 28 日（土）午後 1 時
・場所：白頭学院 建国学校 中学 1 年 A 組教室
・出席者：計 4 名
- 学校関係者：梁真規（中学教頭先生)、李相恩（中学教務先生）
- 保護者委員：朴奎美（中学 PTA 会長)、趙映実（中学 PTA 副会長）
・主な議題：
生徒・保護者アンケートおよび教員の自己評価の妥当性評価と改善案の検討

---

2. 主な項目別評価および協議内容

【教育目標関連】
①（1）生徒集会や記念講話などを通じて、学校の創立意義や教育目標を学んでいる。
→ 生徒 79%、教員 71%、保護者 92%

・活動：
記念式典における校長訓話、生徒会主導の探究活動発表など
・評価：
保護者の満足度が教員・生徒より高く、全体的に肯定的に評価されている

【学習関連】
②（2）K-lab や manabo を活用し、主体的に学ぼうとしている。
→ 生徒 77%、保護者 64%、教員 86%
（3）ICT 機器や「すらら」などの AI 教材を活用し、学習に取り組んでいる。
→ 生徒 68%、保護者 56%、教員 43%
（4）目標をもって英検や TOPIK などに挑戦し、語学学習に努めている。
→ 生徒 94%、保護者 68%、教員 86%
（5）国際交流行事に積極的に参加している。
→ 生徒 81%、保護者 68%、教員 71%

・活動：
K-lab、manabo などの AI・ICT 教材の活用、英検および TOPIK 指導、国際交流活動への参加
・評価および意見：
- 生徒評価に比べて保護者評価は低い（保護者の期待は相対的に高い）
- 高校生に比べて中学生の ICT 活用度が高い傾向がある
- 英語検定は例年水準を維持（3 級以上 70%、準 2 級以上 40%）
- ICT 活用の必要性は認められる一方、思考力・書く力の低下への懸念あり
- デジタルとアナログ学習のバランスが必要
- 保護者への情報提供が不足している（アプリの活用認識が低い）
-韓国語対応の不足問題が一部存在

【学校生活】
（6）学校生活のきまりやルールを守っている。
→ 生徒 98%、保護者 92%、教員 86%
（7）体育祭や文芸祭などの学校行事に積極的に参加し、充実している。
→ 生徒 96%、保護者 92%、教員 86%
（8）困ったときは担任やスクールカウンセラーに相談できる。
→ 生徒 90%、保護者 88%、教員 100%

・活動：
生活指導、学校行事、相談体制の運営
・評価および意見：
- 全項目で約 90%前後の高い満足度
- 相談環境および友人関係は安定している
- 全体的に良好で前向きな学校風土が形成されている

【環境設備】
（9）先生はグループ学習、ディスカッションなどを取り入れた授業を行なっている。
→ 生徒 96%、保護者 88%、教員 71%
（10）特別教室や ICT 設備、wifi 環境が整備されている。
→ 生徒 87%、保護者 83%、教員 86%
（11）学用品や学校の設備を大切に使っている。
→ 生徒 100%、保護者 92%、教員 86%
（12）防犯や防災などの取り組みを通じ、命の大切さを学習する機会がある。
→ 生徒 98%、保護者 83%、教員 86%

・活動：
ディスカッション型授業、Wi-Fi 環境整備、防災訓練の実施

・評価および意見：
- 全体的に 80〜90%台の高い満足度
- 設備利用に対する認識の差が一部に見られる
- 防災教育の多様化が必要

【人権教育】
（13）HR や授業等を通じ、多文化・多様性の大切さについて学ぶ機会がある。
→ 生徒 96%、保護者 84%、教員 100%
（14）行事や授業などを通じて、在日韓国人の歴史を知ることができる。
→ 生徒 98%、保護者 88%、教員 86%
（15）記念講話等を通じ、戦争や平和、人権について考える機会がある。
→ 生徒 98%、保護者 84%、教員 86%
（16）様々なルーツの人々を尊重するように心がけている。
→ 生徒 98%、保護者 84%、教員 86%

・活動：
HR や修学旅行などを通じた歴史・多文化教育
・評価：
- 全構成員において高い肯定的評価

---

3. 総論

1. ICT 教育のバランス問題
・デジタル依存の増加 → 思考力・記述力低下の懸念
→ アナログ学習との併用が必要
2. 保護者の参加およびコミュニケーション不足
・アンケート回答率 約 50%
・情報伝達の確認率が低い
→ 保護者の回答率を上げるため、アンケート提出後に確認メールを送信するなどシステム改善を検討
3. 学習支援体制の改善
・放課後学習の活用にばらつき
・韓国語を母語とする学生向けの学習サポーター（卒業生活用等）支援策の検討が必要
4. 防災・安全教育の強化
・多様な災害対応教育の必要性
・地域連携による避難体制の周知不足
5. 参観日の運営日程:
・昨年の土曜参観の満足度が高く、今年も土曜日開催を希望する。